

SHARP®

インフォメーションディスプレイ

形名

PN-ME652

PN-ME552

PN-ME502

PN-ME432

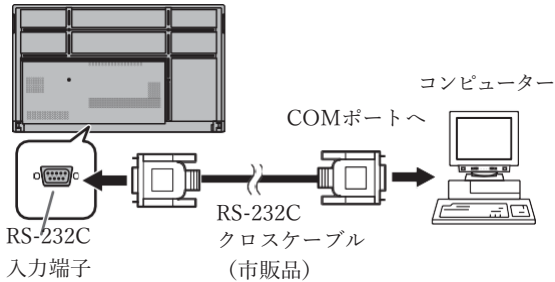
Sフォーマットコマンド取扱説明書

コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

コンピューターの RS-232C (COM ポート) を利用して、コンピューターから本機を制御することができます。「外部制御端子」が「RS-232C」および「コマンドフォーマット」が「S フォーマット」の場合の説明です。

接続のしかた

コンピューターの COM ポート (RS-232C コネクター) と本機の RS-232C 入力端子を RS-232C ケーブル (クロス) で接続します。



通信仕様

コンピューター側の RS-232C 通信仕様を次のように設定してください。

ボーレート	9600bps
データ長	8 ビット
パリティ	なし

ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

通信手順

■ コマンド

コンピューターから本機にコマンドを送ると、それに応じたレスポンスが返ってきます。



コマンド部分
(規定の英数4文字)

パラメーター部分
(数字 +、-、スペース、?
で構成される4文字)

[例] VOLM0030
VOLM30

※パラメーター部分が4文字に足りない場合は、スペース(「」)で4文字になるように調整してください。「」は改行コード (0DH、0AHまたは0DH)

× VOLM30

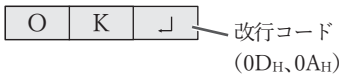
○ VOLM30

RS-232C コマンド一覧表 (4ページ) の中で、「方向」に「R」と入っているコマンドについては、「?」をパラメーターにすることにより、現在の設定値を返します。

[例]
VOLM ? ? ? ? ← コンピューターから本機へ
(現在の音量設定値は?)
30 ← 本機からコンピューターへ
(設定値: 30)

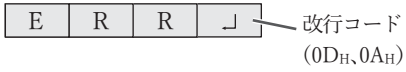
■ レスポンス

コマンドが正しく実行された場合



コマンドの終了後、返信されます。

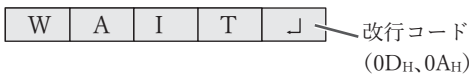
コマンドが実行できなかった場合



ご参考

- 該当するコマンドがない場合や、現在の状態で使用できないコマンドを使用した場合などに「ERR」が返信されます。
- コンピューターと本機の接続が不完全な場合など、通信自体が成立しない状態では、「ERR」を含め返信はありません。
- 周囲環境によるノイズ等が原因で、正しくコマンドが受信できず「ERR」が返信される場合があります。システムやソフトウェアで、コマンドの再送信（リトライ）を行う等配慮してください。

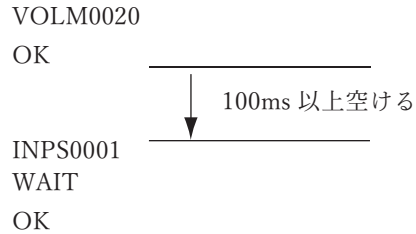
コマンドの実行に時間がかかっている場合



いくつかのコマンドは、戻り値として「WAIT」が返ってきます。この場合、しばらく待つと戻り値が返ってきます。戻り値が返ってくるまでは、コマンドを送信しないでください。

■ 通信間隔について

- 必ず「OK」または「ERR」が返ってきたあとに次のコマンドを送信してください。
また、コマンドレスポンスに対するタイムアウト時間を設定するときは、10 秒以上に設定してください。
- コマンドレスポンスから次のコマンド送信までは、100ms 以上の間隔を空けてください。



ご参考

- オールリセットを実行したときは、再起動します。1 分以上経過してから次のコマンドを送信してください。
- 電源「入」または「切」コマンドを送信するときは、送信するアプリケーション側でバッファをクリアすることをお勧めします。
- 電源「入」または「切」コマンドを実行したときは、1 分以上経過してから次のコマンドを送信してください。

RS-232C コマンド一覧表

コマンド一覧表の見かた

コマンド： コマンド部分 (2ページ)

方向： W 「パラメーター」をパラメーター部分 (2ページ) に設定して使用することにより、「制御/返信内容」に書かれたように機能します。
R パラメーター部分 (2ページ) に「????」を使用することにより、「返信」に示す返り値が得られます。

パラメーター： パラメーター部分 (引数) (2ページ)

返信： レスポンス (返り値)

※： △： 「外部制御端子」が「RS-232C」または「パワーセーブ設定モード」が「最大省電力」のときの電源待機状態、入力信号待機状態では使えません。
-： 電源「入」で使えます。

電源制御/入力切換

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容	※	
電源制御	POWR	W	0		電源待機状態へ移行		
			1		電源待機状態から復帰		
		R		0			電源待機状態
				1			通常動作状態
				2			信号入力待機状態
入力切換	INPS	W	0		トグルで入力切換。	△	
		WR		10			HDMI1
				13			HDMI2
				18			HDMI3
				24			HOME
				27			USB-C
				51			APPLICATION 1
				52			APPLICATION 2
				53			APPLICATION 3
				54			APPLICATION 4
				55			APPLICATION 5
				56			APPLICATION 6

一般設定メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容	※
音量	VOLM	WR	0 ~ 100	0 ~ 100		△
消音	MUTE	WR	0~1	0~1	0：オフ、1：オン	
画面サイズ	WIDE	WR	1~3, 11, 12	1~3, 11, 12	1：ワイド、2：標準、3：1:1、11：フル、12：ズーム	

管理者設定メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容	※
型名	INF1	R		値		
製造番号	SRNO	R		値		

特別機能メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容	※
オールリセット	RSET	W	0		0：オールリセット	△

その他

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容	※
明るさ	VLMP	WR	0 ~ 100	0 ~ 100		△
解像度チェック	PXCK	R		-	現在の解像度を○○○、○○○の形で返信	-

コンピューターで本機を制御する (LAN)

本機をネットワークに接続し、ネットワーク上のコンピューターから本機を制御することができます。
「外部制御端子」が「LAN」および「コマンドフォーマット」が「S フォーマット」の場合の説明です。

ご参考

- 本機をネットワークに接続する必要があります。
- ネットワークメニューの「モニタ制御」で「ネットワークディスプレイ制御」をオンにしてください。
- 「パワーセーブ設定モード」が「最大省電力」のとき、電源待機状態、入力信号待機状態では、制御できません。

コマンドによる制御

ターミナルソフトなどを使い、RS-232C コマンド (4ページ) で本機を制御することができます。

ターミナルソフトの説明書も併せてお読みください。

1. 本機と接続する。
 - ① IP アドレス、データポート番号 (初期値: 10008) を指定し、本機と接続する。
接続に成功すると、「Login:□」が返信されます。
 - ② ユーザー名を送信する。
 - 「ユーザー名」 + 「□」を送信してください。
 - ユーザー名を設定していない場合は、「□」を送信してください。
 - 送信に成功すると、「Password:□」が返信されます。
 - ③ パスワードを送信する。
 - 「パスワード」 + 「□」を送信してください。
 - パスワードを設定していない場合は、「□」を送信してください。
 - 送信に成功すると、「OK□」が返信されます。
2. コマンドを送信し、本機を制御する。
 - コマンドは RS-232C と同じです。通信手順 (2ページ) に従い操作してください。
 - RS-232C コマンド一覧表 (4ページ) にあるコマンドが使えます。
3. 本機との接続を切断し、終了する。
 - ① 「BYE□」を送信する。
送信に成功すると、「Goodbye□」が返信され、接続が切断されます。

ご参考

- 通信のない時間が、「自動ログアウト時間」で設定されている時間経過すると、切断されます。